

インフォメーション

病院・福祉施設の

看護・介護スタッフ募集

応募

まずは、お電話ください。
面接時に詳しい勤務体系等
ご説明させていただきます。

勤務時間 ▶ 法人規程による
給与・休暇 ▶ 入職施設により異なる
待遇 ▶ 詳細面談にて説明
勤務先 ▶ 右記の施設

清水会グループ 統括本部 採用係
☎06-6952-5188
〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12
URL <http://www.seisukai.net/staff.html>

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- おひさま園

社会福祉法人 清水福祉会

- さくら苑
- ケアハウス鶴見緑地
- 城東こすもす苑
- 鶴見緑地苑

Webでも
随時更新中!



編集後記

▲短時間通所リハについての対談を企画した。医療と介護の仕分け等、目まぐるしく変わる制度の中で、新しく始めた短時間通所リハに、ご理解をいただく一助になれば幸いである。

▲新任ドクターに抱負を語ってもらった。お二人が、専門分野における経験や知識を生かして、新たな目標に向かって医療に取り組んでおられる真摯なお姿に感銘を深くした。

▲毎回議論になるのが、表紙のイメージ写真。今回から新シリーズとして、鶴見緑地病院の山内ドクターが趣味で撮られた写真で飾らせていただくことに。第1回は、雲海に浮かぶ富士山(南アルプス・北岳から望む)(K)



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

- 02・03 close-up/対談<短時間通所リハビリ特集>
- 04 close-up/さくら苑<遊クラブ>
- 05 close-up/鶴見緑地病院 新任医師紹介
- 06 close-up/ミズノ胃腸科内科整形
- 07 close-up/話題・ニュース
- 08 インフォメーション/編集後記/清水会グループ

表紙写真/雲海に浮かぶ富士山(南アルプス・北岳から望む)
撮影:山内康雄Dr.(鶴見緑地病院)

2012.09 Vol.05



医療法人 清水会
森小路 清水会クリニック
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070 06-6952-7755

社会福祉法人 清水福祉会
サービス付き高齢者向け住宅 さくら
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007 06-6952-7733



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 おひさま園
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 06-6952-5311



医療法人 清水会
訪問看護ステーション トム・ソーヤ
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21(おひさま園内)
☎06-6956-0505 06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 さくら苑
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
さくら苑 太子橋
〒535-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 ケアハウス鶴見緑地
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002 06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
〒570-0032 守口市菊通3-16-2
☎06-6995-5005 06-6995-5225

清水会グループ URL <http://www.seisukai.net/>

短時間(1~2時間)通所リハビリを始めました!!

短時間通所リハビリ導入の目的

——(聞き手・編集部) 国の政策として、1~2時間の短時間通所リハビリが導入された背景についてお聞かせください。

亀岡 急性期から回復期までのリハビリは、主に医療保険が受け持ち、維持期リハビリを介護保険の短時間通所リハビリへと移行させ、両保険の役割を分担していこうというものです。この移行の流れに沿って、「鶴見緑地病院」でも短時間(1~2時間)の通所リハビリを始めています。

澤田 介護老人保険施設である「おひさま園」も、同様の短時間通所リハビリをスタートさせています。病院でのリハビリを終えた方も、続けて「おひさま園」でリハビリを受けていただくことができますと呼びかけを行っているところです。

亀岡 今回の改定は、デイケアとデイサービスの差別化ですね。本来、デイケアはリハビリが目的の利用になるのですが、実際はどうかというと、リハビリをしている時間は短いのに、拘束時間が長いのが現実です。これは本来のリハビリの目的から外れているのではないかと思います。6~8時間の長時間利用はデイサービスで今後は対応していく方向ではないでしょうか。

澤田 他事業所も、今後は短時間通所リハビリが増えていくと思います。今回の見直しによって、リハビリをしっかりやっているかどうかの評価されるので、今までリハビリに力を入れていたところは今回の改定を喜んでいるのではないのでしょうか。



亀岡事務長

短時間通所リハビリの内容

——1~2時間の短時間通所リハビリの内容はどのようなになっていますか。

亀岡 ちなみに2時間の短時間通所リハビリの流れは、まず血圧測定・脈拍測定・体調確認といった健康管理から始めます。次に利用者さまの個別リハビリになります。身心機能評価を行った上で、一つは機能向上を目的とした理学療法等をご提供します。たとえば、運動療法・バランス訓練・歩行訓練・筋力トレーニング・リラクゼーションなどです。他に、ADL(日常生活動作)訓練、在宅での自主トレーニングの指導があります。これで約80分。後はお帰りまでテレビやマッサージチェアでおくつろぎいただくということになります。

澤田 今話しのあったリハビリの流れは、「おひさま園」も同様です。そして、短時間通所リハビリの特徴は、外来リハビリがご家庭で送迎が可能な方に限られるのに対して、ご自宅までの送り迎えがあることです。リハビリを受けたいが、送り迎えの足がないというご家庭にとっては大きな負担減になると思います。



澤田事務長代理

亀岡 ご利用については、1クール4名さまで、一日4クール(週80名)受け入れています。理学療法士と作業療法士がついてリハビリを行い、必要であれば言語療法士や管理栄養士もともに訓練に参加いたします。お一人おひとりの目標を設定し、在宅生活を楽しく過ごしていただけるように、しっかりサポートしていく体制が整っています。

短時間通所リハビリの対象者

——1~2時間の短時間通所リハビリは、どのような方がご利用されることを勧めているのですか。

亀岡 若い方で、脳血管疾患によって、体が不自由(麻痺)になったケースが増えてきています。そうした方は、従来の高齢者を対象とした長時間のデイケアではなく、外来リハビリのように、必要なリハビリだけを受けて帰りたいというニーズが増えてきているのです。

澤田 そうした方が実際にリハビリを受ける時、送り迎えが付いているとご家族の負担がないために、大変受けやすいのです。実際に短時間通所リハビリを受けている方の感想は、このような制度が出来たことは大変うれしいことだと喜んでおられます。

亀岡 私どもの短時間通所リハビリは、メニューの一つに自宅での自主トレーニングの指導があります。これは、病院や施設でリハビリを受けるのと同時に、我が家での自主トレーニングにつなげていこうという目的があります。これがないと、エンドレスの(終わりのない)通所通いになってしまい、要介護度も生活能力も変わっていきません。

短時間通所リハビリを受ける方法

——それでは、このような短時間通所リハビリを受けるための具体的な方法を教えてください。

澤田 ご利用を希望される方は、前提として、介護保険の認定を受けていることが必要です。その上で、ケアマネジャーを通して「おひさま園」か、「鶴見緑地病院」の、どちらかご希望の事業所に申し込んでいただくことになります。ケアマネジャーがいない場合は、最寄りの居宅介護支援センターに相談をしてください。

亀岡 なお、居宅介護支援センターと通所リハビリセンターの提供地域が決まっておりますのでご承知おきいただきたいと思います。「鶴見緑地病院」は守口市、門真市、大阪市旭区・城東区・鶴見区(一部対応できない地域があります)にお住まいの方となっています。

澤田 「おひさま園」は、大阪市旭区、鶴見区、城東区、都島区、守口市となっています。詳しいことは「鶴見緑地病院」、「おひさま園」の担当者までお問い合わせください。

●鶴見緑地病院 通所リハビリセンター

☎06-6997-0121 村田・倉邊まで

●おひさま園

☎06-6952-0101 住田・西浦まで

理念

1. 私達は 医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する。
2. 私達は 多くの方々に愛される施設をめざす。
3. 私達は 調和のとれた、豊かな人間性の育成につとめ誇りと責任を持ち、日々研鑽を重ねる。

好評の遊クラブ



歌や体操、物作りで
楽しいひと時

旭さくら苑 居宅介護支援センター さくら苑デイサービスセンター太子橋

今年の4月から、「旭さくら苑居宅介護支援センター」と「さくら苑デイサービスセンター太子橋」の共催で、どなたでも自由に参加できる「遊クラブ」を開催しております。これは、地域に根差した施設作りの一環として、近隣の方々に交流の場を提供したいとの思いからスタートしたものです。「一緒にお話をしたり、体を動かしたり、物作りをして楽しめよう」と、近隣に呼びかけて開催させていただいております。

「遊クラブ」は、旭さくら苑居宅介護支援センターが偶数月に、さくら苑デイサービスセンター太子橋が奇数月に、それぞれ隔月で行われています。4月開催より体操教室、ちぎり絵、音楽を聞きながら歌ったり、多数の参加者で大変好評でした。今後の開催予

定は、旭さくら苑が、10月「音楽でくつろぎながら楽しめよう」、12月「お正月用箸置き&つまようじ入れ作り」。デイサービスセンター太子橋では、11月「お正月用箸置き&つまようじ入れ作り」となっています。

お問い合わせ先

旭さくら苑 居宅介護支援センター
担当:大石

☎06-6957-8008

さくら苑デイサービスセンター太子橋
担当:東(あずま)

☎06-4254-3003

新任紹介

『新任ドクターです』

今年の4月から鶴見緑地病院に二人のドクターが赴任してこられました。一人は血液内科の森真一郎ドクター。もう一人は循環器内科の岸本広志ドクターです。そこで、二人のドクターに抱負を語ってもらいました。



血液内科医 森 真一郎



循環器内科医 岸本 広志

生活習慣病の分野にも力を

平成3年に関西医大を卒業し、同大学病院の研修医を経て、平成4年に倉敷中央病院に赴任。そこで血液内科医としてのスタートを切りました。血液内科というのは、造血にかかわる病気が対象になります。主な病気としては、白血病、悪性リンパ腫、再生不良貧血等があります。こうした病気の治療としては抗がん剤を使っのての治療ということになります。血液の病気は不治の病というイメージがあります。過去20年間、血液内科医としてさまざまな症状の患者さまと向き合ってきましたが、血液の病気と診断されると患者さまは非常に落胆されるわけで、医師の立場から言えば必ずよくなりますよと希望を持たせる励ましが大事ですし、患者さまの立場から言えば必ず克服してみせるという強い心が大事になります。現代医療を駆使して治療に当たると同時に、心のケアを欠かすことができないと実感します。今回、鶴見緑地病院に赴任してきた思いの中には、高血圧や糖尿病、高脂血症といった、いわゆる生活習慣病の分野の医療にも力を注ぎ、更に内科医として成熟したいという思いがあります。

「聞くこと」が治療の第一歩

今年の4月から、鶴見緑地病院の循環器内科医として勤務しています。私が医師の道を志したのは、すべての人に共通した関心事である「健康」に貢献できる仕事であると思ったこと。中でも直接生死にかかわる心臓の急性期医療に関心を持ったのがこの科を選んだ理由です。“国民病”となりつつある糖尿病や肥満といった生活習慣病、更には動脈硬化、高脂血症等は、慢性的なストレス、悪化する生活環境、欧米型の食生活偏重などが原因と言えます。このような循環器疾患について、研究、開発が進み、効果的な治療法が見出せる時代になっています。しかし、大事なことは、治療より予防といいますが、生活習慣を正していくことだと思います。そこをうまくコントロールしていけば、狭心症や心筋梗塞といった重い病気を未然に防げるのです。心臓に不安を抱えている方々に、そのお気持ちを充分聞いて、何がしてほしいのかを把握する。それに対して何が出来るのか、医学的に何をすべきなのかをすり合わせて継続可能な治療方法を提示することになります。その際、生活指導も重要な要素だと思います。

家庭的な雰囲気地域のアオアシに! 医師、看護師、リハビリスタッフ为一体で医療を展開

<ご案内>

清水会グループの中で、最も古い歴史を持つ医療機関ですが、陽に映える白壁がまぶしい、小じんまりした瀟洒(しょうしゃ)な雰囲気の診療所。地元・旭区はもとより、鶴見区や守口市から来院される患者さまもおられ、家庭的な雰囲気にあふれた、文字通り「地域のアオアシ」といった診療所です。中心になって働く看護師さんたちが、30年近い人、20年を超える人、10年になる人と、長くケアに携わっているのも患者さまから親しまれ、信頼されている要因の一つ。患者さまの喜びの声を励みに医師、看護師、リハビリスタッフ、事務スタッフが一体となって医療を展開している診療所です。



【診療科目】

●診療科目は内科、小児科、胃腸科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科、肛門科、外科と多岐にわたる診療を行っています。さらに、在宅ケア(往診)にも応じています。

【診療時間】

●午前9時～正午
●午後6時～午後8時

【休診日】

●水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

●お問い合わせ

〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31

☎06-6952-5058



『つるみ菜園・園芸クラブ』

鶴見緑地病院のユニークな取り組み
種まきから収穫まで
利用者を中心に――

「デイケアを受けておられる多くの方は、戦前戦後の日本を支え、今日の繁栄の礎を築いた方々です。この方々を生き生きさせてあげたい」と語るのは「鶴見緑地病院」の亀岡事務長。この思いを具体化したのが「つるみ菜園・園芸クラブ」。今年の2月にスタートした。ボランティアや職員が力を合わせ、病院の屋上やデイケアのベランダにプランターの「農園」を作り、じゃがいも、なすび、キュウリ、トマト、しいたけ、イチゴ、ブドウ、リンゴ、みかん、バナナ等も植え何時でも何かを収穫できるようにしました。種まきから収穫まで、世話をするのは全部デイケアを利用する方々。以前は、無気力、無関心、無感動であったご利用者の方も、今では自分から進んで行動するといった、大きな変化が見受けられるようになり、次の利用日を楽しみにするまでに変わっておられます。また、中には、「私のプランターに水をやってほしい」とか、「なすびやキュウリなどが大きくなりすぎていないか」などの電話を受けることもあります。病院の屋上に出た解放感。作物の生育への感動。収穫の喜び。参加者の間に対話が生まれ、はつらつとした動きが蘇った。自らの収穫は持ち帰っていただくことにしています。「お陰さまで家族との対話も弾むようになりました」と感謝の言葉も。今、このユニークな家庭菜園の試みは、デイケアの明日に新たな光を放ちつつあります。



12月1日オープン! サービス付き高齢者向け住宅「さくら」

京阪「森小路駅」から3分 透析クリニックを併設

今、旭区新森3丁目で、サービス付き高齢者向け住宅「さくら」の新築工事が急ピッチで進められています。外装はすでに完成、現在は内装工事が行われています。オープン予定は12月1日。京阪電車「森小路駅」から徒歩3分という交通至便の立地条件。透析クリニックを併設しており、最新の機器を導入し、質の高い技術と真心を込めた医療活動をご提供します。透析クリニックの開業は2013年1月を予定しています。

